

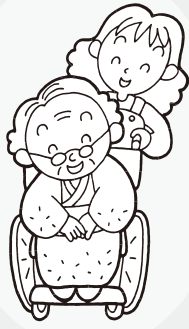
民生委員の活動を支える取組みについて

議員 活動が広がってきている民生委員を支える取組みについてたずねる。

健康福祉部長 負担軽減のために行政や専門職員、福祉委員等とのネットワークによる取組みに加え、活動しやすいような広報活動にも努めていきたい。

生涯にわたる健康管理について

議員 胎児期から生涯にわたっての市民の健康を考えた健康支援を今以上に行うことができないか。



健康福祉部長 笠岡市健康

づくり計画において、新たに胎児期を含めた乳幼児期からの健康づくりの重要性に注目して、年齢ごとのライフステージを設定し、生涯を通じた健康づくりの施策に取り組みたい。

奥野泰久議員

平成26年度予算案の施政方針について

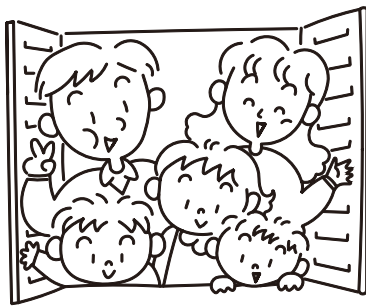
議員 ①国の平成26年度予算編成の基本方針では、リマンショック後の危機対応モードから平時モードへの切替のために、歳出特別枠や別枠加算を見直すとしている。本市の財政運営にどのような影響があるのか。

②交付税の総額不足が生じる重要な要因が、国の減税政策にあるとすれば、別枠という代替措置ではなく、本来の法定率引上げで対応すべきであるが、市長会等でそのような要望をしているのか。

市長 ①地方交付税について

ては2年連続で前年度比マインナスとなっているが、社会保障の充実分等を含め、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額では、前年度を上回る水準が確保されており、市の歳入全体では大きな影響はないと考えている。

②本市からの要望もあり、全国市長会から国に対し法定率の引上げに加え、国と地方の税源交換等により安定的な税収が得られる地方税体系の構築を要望している。今後もあらゆる機会をとらえ、要望していきたい。



議員 行政評価と予算編成の連動をすでに図っているとのことであるが、評価の事業と予算の事業が一致して初めて連動が可能となるのではないのか。事業を細分化し一致させ、成果のある予算編成にすべきではないのか。

市長 行政評価では、施策評価と事業評価を実施しており、施策評価では、施策評価委員会が行った施策評価結果を各施策の担当課へ戻し、担当課は必要な改善を行い、次年度の予算要求を行う。

事業評価では、個々の事務事業について、担当課による振り返りを行い、その成果と課題を明らかにした上で、次年度以降の事業の改善や総合計画実施計画の作成につなげている。

こうした経過を踏まえ、予算編成において各担当課は、事業別に必要経費を精査し取りまとめた後、財政課とのヒアリングに臨んでおり、財政担当と意見を交

えて予算案を作成している。しかし、今後他市の状況等を参考として、進め方については検討すべきとも考えている。

樋之津倫子議員

住宅リフォーム助成制度の充実改善を求めて

議員 ①経済効果抜群と呼び声高く、市民要求も大きいこの事業について、さらなる実施期間の延長を図るべきと考えるが、どうか。

②対象を個人家屋だけでなく、店舗の改修にも広げ、助成額もそれに見合うものに定めて、商店街の活性化につなげてはどうか。

市長 ①平成26年度の申請状況等を見ながら、継続する方向で検討したい。②出店に際しての助成額等の検討を、平成26年度中に行う予定であり、既存店舗の改修についても、産業振興の観点から検討したい。

第7次行政改革大綱について